

議事概要記録

開催日時	令和元年9月21日(土) 15:00 ~ 17:00	開催場所	済生会和歌山病院 7階 多目的ホール
会議種別	令和元年度 第4回理事会	議長	田中 規仁
		書記	神藤 洋次
出席者 〈敬称略〉	竹中 正人、田中 規仁、木下 博之、田原 靖子、神藤 洋次、栗林 伴有、久保 光史、脇村 小津江、山本 須美子、中尾 光孝、森井 眞治、秋田 豊和、畑 忠良 大石 博晃 14名		
欠席者 〈敬称略〉	藤谷 泰明、相根 弘史、丸澤 佳子	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 令和元年度第3回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ 会誌編集 ⑥ ホームページ ⑦ 会報 ⑧ 月例行事予定表 ⑨ 表彰委員会 7. 連盟 8. 第40回和歌山県医学検査学会報告 10. その他 <p>審議事項</p>		
決議事項 及び 継続事項	<p>竹中会長より開会宣言があった。</p> <p>冒頭、竹中会長より、次年度予算案提出の時期でもあり、まだ終了していない事業もあるが、企画内容と予算を吟味して作成して下さいと挨拶があった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 10px auto;">報告事項</div> <p>会長報告</p> <p>〈日臨技関連〉</p> <p>9月15、16日に日臨技認定心電検査技師育成研修会、更新研修会(新潟市)が開催されたと報告があった。</p> <p>9月28日に日臨技理事会が開催されたと報告があった。</p>		

11月23日に日臨技理事会が開催されると報告があった。

<支部関連>

10月26、27日に第59回近畿支部医学検査学会が開催されると報告があった。

<和臨技関連>

10月19日に医療セミナーinわかやまが開催されると報告があった。

同日に検査と健康展も開催されると報告があった。

<他団体関連>

9月5日に県知事・病院協会理事長・コメディカル団体会長会議（アバローム）が開催されたと報告があった。

11月9、10日にわかやま健康と食のフェスタが開催されると報告があった。

第4回常務理事会

和臨技会員について

今年度の総会において、和臨技会員である資格は、日臨技会員であることが必須と改訂されたのを受けて、会員が、年度途中で日臨技を退会した場合は、年度末までは和臨技会員であるが、次年度も和臨技会員を継続する場合は、日臨技に再入会する必要があることを報告した。

次年度予算案について

各理事に、次年度の和臨技事業に対して、企画及び予算案を作成し、常務理事経由で事務局に11月30日までに予算案を提出するように報告した。

事務局報告

9月2日に日臨技より結核研究奨励賞候補者の推薦についての依頼があったと報告した。

9月2日に日臨技より検体採取に関する厚生労働省指定講習会の受講促進についての広報依頼があったと報告した。

9月2日に和歌山県公衆衛生協議会より第35回和歌山県公衆衛生協議会学会の開催及び演題募集案内があったと報告した。

9月9日に和歌山県臨床コーチング研究会より第7回和歌山県臨床コーチング研究会に後援依頼があり受諾したと報告した。

9月11日に日臨技より令和元年度精度保証施設認証申請について、該当施設への広報依頼があり、事務局より案内を行ったと報告した。

9月13日に和歌山県より令和元年度医療従事者功労者賞候補者の推薦依頼があったと報告した。

学術部報告

和臨技精度管理について

- ・8月25日に和医大検査室で精度管理試料の梱包作業を行ったと報告があった。
- ・血液検査・輸血検査・生理検査の回答用紙に修正があったと報告があった。
- ・事務的ミスにより、精度管理資料配布の遅延施設が1施設あったと報告があった。
- ・次年度より、和臨技精度管理に日臨技精度管理システムを使用するために

申請書を提出すると報告あった。

班長班員会議開催について

- ・令和元年度1月11日に済生会和歌山病院7F多目的ホールで開催予定と報告があった。
- ・各研究班に次年度の企画予算書及び日程の作成を指示したと報告があった。

日臨技推進事業助成金について

- ・日臨技に事業助成金を申請できる件数は20件であり、現在、承認されたのは10件、申請中は8件であると報告があった。
- ・今年度の各班の研修会開催回数(9/12現在)は以下であると報告があった。
微生物2 生物化学0 血液3 病理1 生理1 一般2 輸血3 総合1

勉強会開催期限について

年度末の3月は決算月のため、勉強会の開催は2月中頃までをお願いしたと報告があった。

学術部機材貸し出しについて

- ・班員や勉強会参加者に、事前をお願いするなどの対応より、問題なく勉強会が開催されており、現在の方法で行っていくと報告があった。

近畿学会座長変更について

- ・内定していた座長1名の辞退があり、和医大の鈴木誠也さんに交代したと報告があった。

結核研究奨励賞候補者の推薦について

今年度は該当者なしと報告を受けて承認された。

経理部報告

田原会計部長より、決算書に領収書を添付する場合のやり方の説明があった。

各種委員会報告

公益事業活動

①医療セミナー

開催日：令和元年10月19日(土)

場所：イオンモール和歌山 イオンホール

メインテーマ「動脈硬化症」

講演1「脳卒中 -予防と治療の最前線- (仮題)」

和歌山県立医科大学附属病院 脳神経外科

助教 石井 政道 先生

講演2「心血管病の予防と治療 -心臓、脳を守るために必要な事-」

和歌山県立医科大学附属病院 循環器内科 講師 谷本 貴志 先生

上記の講演内容で行うと報告があった。

②全国「検査と健康展」 和歌山会場

開催日：令和元年10月19日(土)

場所：イオンモール和歌山 イオンホール

内容：物忘れチェックで認知症予防

細胞をのぞいてみよう

「音」でいろいろみてみよう

白衣を着れば、あなたも臨床検査技師

乳がん模型で触診体験

医師による健康と検査の相談 他

上記の内容で開催すると報告があった。

8月29日に実務委員会を開催したと報告があった。

③HIV AIDS 啓発活動及びHIV 即日検査

開催日：令和元年 11 月 24 日（日）

場所：和歌山大学

内容：即日検査（RPR・TP 抗体・HIV 抗体）、ポスター掲示による啓発活動と報告があった。

和医大3名、労災病院1名、橋本市民1名の実務委員として登録されているが、採血とポスターによる AIDS 啓発担当の実務委員について2～3名の協力要請があり、新たに、和医大より2名、日赤和歌山医療センターより2名協力いただけることになった。

④わかやま健康と食のフェスタ 2019

開催日：2019年11月9日（土）・10日（日）

場所：和歌山ビッグウェーブ

実務委員

11/9（土）責任者 木下、実務委員 丸澤、田中、神藤、山本、森井

11/10（日）責任者 丸澤、実務委員 田中、栗林、山本、久保

実施内容

認知症チェックと糖化最終糖化産物測定（AGEs）の2項目を機器で測定すると報告があった。

各理事に検査説明の資料提供の要請があった。内容を確認の後、和医大より検査部紹介動画の借用いただく予定となった。

⑤和歌山県地域ニューリーダー育成講習会

開催日：2019年9月1日（日）12時～16時まで

場所：和歌山 JA ビル 11階 A

実務委員は常務理事4名で行い、参加者7名であったと報告があった。

今回の講習会でまとめた意見より、次回のテーマとして、繋げていけるように考えて行きたいと報告があった。

定款・渉外

特になし

災害対策委員会

開催日：2019年12月7日（土）もしくは14日（土）

場所：済生会和歌山病院 7階 講堂

内容 1. 和歌山県における災害医療対策 医療調整本部との関わりについて

2. リエゾンとロジスティックの重要性について

3. DHEAT 活動参画への可能性について

上記の内容で開催すると報告があった。

精度管理

令和元年度臨床検査精度管理調査事業について

令和元年度（第 32 回）和歌山県臨床検査技師会 臨床検査精度管理調査

①精度管理試料梱包日 令和元年 8 月 25 日（日）11 時～

和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部で行ったと報告があった。

②令和元年 8 月 25 日（日）に精度管理委員会を和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部で開催し、次年度導入予定の日臨技精度管理システムの設定等のスケジュールについて報告があった。

③令和元年度臨床検査精度管理調査事業スケジュールについての報告があった。

令和元年度 第 32 回和臨技精度管理調査 問題点について

①精度管理結果記入シートの不具合

血液検査・輸血検査・生理検査の回答用紙に修正があったと報告があった。

②試料発送漏れ

1 施設において、HbA1c 試料の梱包漏れがあり、早急に試料を発送したと報告があった。

③精度管理試料発送不備

1 施設において、参加申込シートの保存作業にミスがあり、参加施設でありながら不参加対応となってしまう、送付日程を協議した上で試料発送を行うとともに、お詫び状も送付したと報告があった。

上記に対するの対策として、日臨技精度管理システムの導入を検討しており、参加申込集計がオンラインになり事務的作業は一部軽減されるが、試料の梱包および、発送の確認作業については必要であると考え、関係各所の方々と協力体制をさらに強化し、再発防止に努めたいと報告があった。

和臨技精度管理サポート事業について

昨年度で終了した日臨技精度管理サポート事業の代わりに、今年度より、和臨技精度管理についてのサポート事業を行う予定であると報告があった。

会誌編集

特になし

ホームページ

特になし

会報

和臨技会報 73 号の発刊の準備をしていると報告があった。

月例行事予定表

特になし。

表彰委員会

令和元年度医療従事者功労者賞候補者の推薦依頼について

和歌山医大の中村好伸氏を推薦者としてと提案があり承認された。

その他

今年度、ベッドサイド実践講習会（旧多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会）の開催を令和元年11月16日・17日 会場は済生会和歌山病院で予定しており、また下記の内容で行うと報告があった。

【臨床工学士】

和歌山県立医科大学附属病院 臨床工学センター 稲垣 伸光氏

「知っておくべきベッドサイド機器管理」

【看護師】

済生会和歌山病院 看護部 副看護部長 河原 歩氏

「看護職から見た患者心理と家族とのコミュニケーション」

【薬剤師】

済生会和歌山病院 薬剤部科長 木村 真氏

「知っておくべき薬理」

【理学療法士】

有田市立病院 奈良岡 隆也氏

「知っておくべき患者移送技術」

連盟

活動報告があった。

第40回和歌山県医学検査学会

開催日：令和2年2月15日、16日

会場：Hotel & Resorts WAKAYAMA-MINABE（旧 みなペロイヤル）

テーマ：「彩-いろどり-」

広告・機器展示・プレゼンの募集状況の報告があった。

演題募集についての報告があった。

その他事項

木下副会長より、次年度予算案の提出もあり。より良い企画立案をお願いしたいと閉会の挨拶があった。

次回理事会

第5回理事会 令和2年1月18日（土）

記録作成

令和元年9月23日

氏名

神藤 洋次

提出

令和元年9月30日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可